

## 「自然観察スタンプハイク (3)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

小雨の中、やっと実施できた大学構内スタンプハイク。子どもたちは、「待ってました!」とばかり、地図を見ながら、チェックポイントを探しながら、はりきって歩き出した。



首にはスタンプカード、手にはポリ袋を持っている。スタンプハイクが終わる頃には、ポリ袋は「秋」で一杯になっていた。この葉っぱは、図工の時間に、オブジェづくりに使った。

チェックポイントは、番号順に回らなくても良い。各ファミリー(班)ごとに、好きな樹木から探していた。さっそく「ケヤキ」のポイントについた。ただスタンプを押してもらっただけでなく、ケヤキの葉をひろったり、ケヤキの実を探している。オリエンテーリングのように早さを競うのではなく、ゆっくり観察をしながら、楽しむ活動なのだ。



全部終わって、教室に戻る子どもたち。1時間でちょうどよかった。ゴールすると、記念切符(硬券)がもらえる。子どもたちは、大切そうに定期入れにしまっていた。なかなか楽しい活動だった。附属幼稚園の子どもたちと一緒にやったら、きっと面白いだろう。

こちらは「カツラ」のポイント。附属図書館の前の広場に3本ある。丸い、かわいらしい葉がたくさん落ちている。カツラの葉は落葉すると、甘いキャラメルのような香りを放つ。子どもたちは、葉をひろったり、深呼吸をして「いいにおいだなー」と楽しんでいた。

